



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日
東

上場会社名 スズデン株式会社 上場取引所
 コード番号 7480 URL <https://www.suzuden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 篤史
 問合せ先責任者 (役職名) iクリエイト部長 (氏名) 安岳 宗吉 (TEL) 03-6910-6801
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,592	△11.0	946	△22.7	1,118	△21.3	735	△15.0
2019年3月期第3四半期	36,630	0.1	1,224	4.6	1,421	3.2	864	△5.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 777百万円(2.2%) 2019年3月期第3四半期 760百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	52.90	—
2019年3月期第3四半期	62.26	62.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	26,298	16,085	61.2	1,156.50
2019年3月期	28,266	17,093	60.5	1,229.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,085百万円 2019年3月期 17,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	110.00	120.00
2020年3月期	—	18.00	—		
2020年3月期(予想)				52.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,400	△5.5	1,180	△25.8	1,450	△20.6	950	△28.8	68.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	14,652,600株	2019年3月期	14,652,600株
2020年3月期3Q	744,259株	2019年3月期	750,859株
2020年3月期3Q	13,902,437株	2019年3月期3Q	13,888,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における当社グループを取り巻く環境は、米中貿易摩擦の長期化などを背景に世界経済は依然として先行き不透明な状況にあり、輸出の減少等から製造業の生産活動や設備投資は足踏み状態が続いております。

当社グループにおきましては、半導体製造装置関連の主要顧客において、海外の半導体メーカーでのロジック関連設備投資が堅調に推移した他、太陽光発電やキャッシュレス対応に関する設備投資が一部で見られましたが、主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界全般では設備投資への慎重な傾向は継続しており、売上高は低調に推移しました。

こうした環境の中、当社は地域密着・顧客重視の営業体制のもと、顧客ニーズに直結した商品やサービスの提案を通じて、人手不足や生産性向上といった顧客が抱える課題解決に向けた取り組みを行うとともに経費の見直しを進めて、利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,592百万円(前年同四半期比11.0%減)、営業利益は946百万円(前年同四半期比22.7%減)、経常利益は1,118百万円(前年同四半期比21.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は735百万円(前年同四半期比15.0%減)と前年同四半期に比べ減収減益となりました。

また、当社グループの商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

① F A 機器分野

温度調節器、駆動機器等が増加しましたが、表示機器、センサー等が減少し、売上高は18,558百万円(前年同四半期比11.8%減)となりました。

② 情報・通信機器分野

ソフトウェア、システムラック等が増加しましたが、F A コンピューター、ルーター等が減少し、売上高は2,994百万円(前年同四半期比20.6%減)となりました。

③ 電子・デバイス機器分野

基盤、LED等が増加しましたが、コネクタ、ノイズ対策商品等が減少し、売上高は3,453百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。

④ 電設資材分野

電線、キャビネット等が増加しましたが、LED照明、ケーブルアクセサリ等が減少し、売上高は7,585百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,968百万円減少し、26,298百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,194百万円減少し、21,303百万円となりました。

これは主に、有価証券の増加200百万円、現金及び預金の減少1,374百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて774百万円減少し、4,994百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の減少782百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて959百万円減少し、10,213百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて442百万円減少し、8,210百万円となりました。

これは主に、短期借入金の減少363百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて516百万円減少し、2,002百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少666百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,008百万円減少し、16,085百万円となりました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上735百万円、配当金の支払1,795百万円によるものであります。なお、自己資本比率は61.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から2,075百万円減少し、3,094百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は867百万円の増加となりました。（前年同四半期における資金は825百万円の増加）

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,118百万円、仕入債務の増加507百万円の増加要因、法人税等の支払額586百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は85百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は276百万円の減少）

これは主に、有形固定資産の取得による支出20百万円、投資有価証券の取得による支出62百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,845百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は913百万円の減少）

これは主に、長期借入金の返済による支出1,030百万円、配当金の支払額1,795百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想については、2019年11月8日に「2020年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました予想数値から修正はありません。

2020年3月期第4四半期以降の当社グループの景況につきましては、半導体製造装置関連の主要顧客においてロジック関連投資は堅調に推移すると見込まれております。一方、主力販売先であります電気機器・電子部品・産業機械業界では設備投資に対して慎重な姿勢が継続していることに加えて、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響など、市場環境は不透明な状況であります。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により変動する場合があります。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,490,178	3,115,889
受取手形及び売掛金	10,693,667	10,652,304
電子記録債権	2,780,620	2,785,748
有価証券	2,106,955	2,307,768
商品	2,172,463	2,241,985
その他	256,342	202,513
貸倒引当金	△2,680	△2,678
流動資産合計	22,497,546	21,303,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,663,850	1,591,419
土地	1,909,493	1,909,493
その他(純額)	75,384	268,898
有形固定資産合計	3,648,728	3,769,812
無形固定資産	72,452	72,119
投資その他の資産		
その他	2,086,374	1,190,294
貸倒引当金	△38,787	△37,637
投資その他の資産合計	2,047,586	1,152,656
固定資産合計	5,768,767	4,994,588
資産合計	28,266,314	26,298,119
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,670,131	4,260,244
電子記録債務	2,589,554	2,505,152
短期借入金	1,113,966	750,462
未払法人税等	309,354	21,969
賞与引当金	238,981	144,002
役員賞与引当金	91,000	58,500
その他	640,097	469,876
流動負債合計	8,653,086	8,210,206
固定負債		
長期借入金	1,255,979	589,355
役員株式給付引当金	25,569	31,524
退職給付に係る負債	1,031,444	1,014,824
その他	206,479	367,162
固定負債合計	2,519,472	2,002,867
負債合計	11,172,559	10,213,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,527,493	1,530,825
利益剰余金	14,345,604	13,285,721
自己株式	△648,286	△642,661
株主資本合計	17,044,041	15,993,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,738	96,308
為替換算調整勘定	11,638	△2,214
退職給付に係る調整累計額	△8,664	△2,165
その他の包括利益累計額合計	49,713	91,929
純資産合計	17,093,755	16,085,045
負債純資産合計	28,266,314	26,298,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	36,630,718	32,592,191
売上原価	31,323,834	27,751,033
売上総利益	5,306,883	4,841,158
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	419,151	376,325
給料手当及び賞与	1,865,266	1,765,007
株式報酬費用	5,699	6,203
法定福利費	281,346	270,709
退職給付費用	102,965	122,254
賃借料	182,491	282,137
減価償却費	158,344	119,812
賞与引当金繰入額	164,571	144,002
役員賞与引当金繰入額	73,500	58,500
その他	828,670	749,271
販売費及び一般管理費合計	4,082,005	3,894,224
営業利益	1,224,878	946,934
営業外収益		
受取利息	897	11,490
受取配当金	12,982	20,737
仕入割引	185,758	146,355
為替差益	2,841	—
その他	48,557	21,194
営業外収益合計	251,036	199,777
営業外費用		
支払利息	7,991	10,851
手形売却損	7,451	6,349
売上割引	7,295	5,414
為替差損	—	3,564
減価償却費	10,151	—
貸倒引当金繰入額	18,362	—
その他	2,805	2,145
営業外費用合計	54,058	28,324
経常利益	1,421,856	1,118,387
特別利益		
投資有価証券売却益	6,691	—
新株予約権戻入益	832	—
特別利益合計	7,524	—
特別損失		
減損損失	115,621	—
固定資産除却損	117	216
特別損失合計	115,738	216
税金等調整前四半期純利益	1,313,641	1,118,170
法人税、住民税及び事業税	380,467	303,985
法人税等調整額	68,446	78,773
法人税等合計	448,914	382,758
四半期純利益	864,727	735,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	864,727	735,412

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	864,727	735,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,103	49,570
為替換算調整勘定	△11,383	△13,852
退職給付に係る調整額	△9,579	6,498
その他の包括利益合計	△104,066	42,216
四半期包括利益	760,660	777,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760,660	777,628
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,313,641	1,118,170
減価償却費	168,496	119,812
減損損失	115,621	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△136,482	△94,979
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△52,500	△32,500
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,699	5,955
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	103	△16,620
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,054	△1,151
受取利息及び受取配当金	△13,879	△32,228
支払利息	7,991	10,851
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,691	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,160,720	33,185
たな卸資産の増減額(△は増加)	△502,454	△73,397
仕入債務の増減額(△は減少)	△703,437	507,906
その他	270,927	△113,772
小計	1,644,810	1,431,232
利息及び配当金の受取額	13,560	33,494
利息の支払額	△7,950	△10,723
法人税等の支払額	△824,727	△586,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	825,693	867,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△84,080	△20,808
無形固定資産の取得による支出	—	△15,067
投資有価証券の取得による支出	△22,113	△62,123
投資有価証券の売却による収入	11,120	—
敷金及び保証金の差入による支出	△185,196	△4,309
敷金及び保証金の回収による収入	3,615	17,303
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
定期預金の払戻による収入	3,000	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△276,656	△85,004
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,106,326	△1,030,128
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,636	△20,244
配当金の支払額	△811,743	△1,795,294
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19,491	—
その他	△165	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△913,380	△2,845,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,518	△12,184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△370,861	△2,075,726
現金及び現金同等物の期首残高	3,607,810	5,170,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,236,948	3,094,889

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が203,623千円増加し、流動負債の「その他」が16,471千円及び固定負債の「その他」が189,818千円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. その他

仕入及び販売の状況

(1)仕入実績

(単位：千円)

品目名	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前年同期比 (%)
F A機器	16,489,515	△13.4
情報・通信機器	2,524,414	△20.9
電子・デバイス機器	2,767,232	△15.8
電設資材	6,041,079	△4.4
合計	27,822,240	△12.6

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

(単位：千円)

品目名	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前年同期比 (%)
F A機器	18,558,150	△11.8
情報・通信機器	2,994,792	△20.6
電子・デバイス機器	3,453,382	△11.5
電設資材	7,585,865	△4.3
合計	32,592,191	△11.0

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。